



「友よ 我等は」

「学年通信」は、生徒の皆さんが読み終わった後、必ず保護者の方に渡してください

自律した学習者たるために 「AkB プラン」－自己選択と自己決定－

2学年主任 古屋 彰士

2学年では、「自律した学習者」を目指し、後期より「AkB（圧倒的基礎力爆上がり）プラン」の取組を始めました。主な取組内容は以下の6つです。＊①～④は希望者、⑤・⑥は全員による取組です。

- ① サプリ〔原則（金）6校時に実施。「圧倒的基礎力」を身に付けるため、復習を中心に、自分で計画を立てて学習に取り組む。協働学習や教員への質問も可。どこでつまづいているのかを把握⇒つまづきの解消へ。〕
- ② 真剣に模試の解き直し〔1～2年生で受験した模試等を半年間かけて解き直す。〕
- ③ 難関大講座・ステップアップ（SU）講座〔じっくり考えるに値する良問（核心的な1問・1題）に取り組み、他者と協働しながら「なぜ」という問いを中心に検討する。〕
- ④ THE 善学習会〔長時間座り続け、「淡々と」学習に取り組む（「さあやるぞ」と意気込まなくても、呼吸するのと同じように学習に取り組む）ための座力を鍛える。自習を基本とするが、複数人で同じ課題に取り組み、相互に学び合うような取り組みも可能。〕
- ⑤ WEB小テスト・読書〔8:35～8:45まで、月・水・金はClassiを活用したWEB小テスト、水・木は読書に取り組む。日々の積み重ねを大切に。〕
- ⑥ 学習時間の記録〔自分の取組状況や教科のバランス等を可視化し、客観的に把握する。「圧倒的基礎力」という観点からすると、やはり量（繰り返し）も大切。週28時間の学習時間の確保を。〕

AkBの取組の多くは任意としています。理由は、甲府東高校の生徒として、また「自律した学習者」として、「**選択⇒挑戦⇒体験⇒省察**」のサイクルを大切にしてほしいと考えているからです。

【**選択**】：自らの学び方や学習材を選択。 【**挑戦**】：成長への挑戦。見通しを持ちつつ、自分を信じて挑戦。

【**体験**】：他者と交流し、様々な出来事に出会う。 【**省察**】：出来事の意味を省察し、自己調整する。

来週より三者懇談が始まります。保護者の皆様におかれましては、お忙しい所申し訳ございませんが、よろしくお願いいたします。

11月の主な行事予定

- | | |
|-----------|--|
| 11月 1日（土） | 進研総合学力テスト ＊変更の場合は10月27日に連絡 |
| 2日（日） | 学校創立記念日 |
| 3日（月） | 文化の日 |
| 4日（火） | 午後授業カット，三者懇談，第2回バイク免許取得希望者説明会（昼） |
| 5日（水） | 午後授業カット，三者懇談，バイク安全運転講習会（PM） |
| 6日（木） | 午後授業カット，三者懇談，芸文祭グランドステージ・パレード |
| 7日（金） | 午後授業カット，三者懇談 |
| 11日（火） | ▲カセット |
| 12日（水） | 登校時マナーアップ運動
第3回定期試験時間割発表，学習強化週間（18日まで） |
| 14日（金） | ⑤スケアード教室 |
| 19日（水） | 第3回定期試験（26日まで） |
| 20日（木） | 県民の日（生徒休業日）
電気設備点検（8:30～11:00 停電） |
| 26日（水） | ④クリーンキャンペーン
課題探究型授業（希望者），教員の魅力発信講話（希望者） |
| 27日（木） | 成績処理日（生徒休業日） |





【2学年リレー通信】

PRAING RUN

2年1組 副担任 三浦 雅暉

10月に入り、やっと涼しくなってきましたね。私も長ズボンを着用する頻度が増えてきました。2年生も後期に入り、皆さんの高校生活も折り返しを迎えました。早いですね。満足のいく高校生活を送ることはできているでしょうか。皆さんは今、日々の学習や部活動、そして将来の進路について、様々な思いを抱えていることと思います。そんな中今回は、私の大好きなバンド「UVERworld」の楽曲「PRAYING RUN」の歌詞を題材に、皆さんに伝えたいことを綴らせていただきます。この曲を知らない人、まずは、聴いてみてください。

この曲には、「全部やって確かめりゃいいだろう」という力強いメッセージが繰り返し登場します。ライブではこの部分をレスポンスするのですが、最高に盛り上がります。私はこの歌詞に非常に共感できます。今まで、「良いアイデアや最適であろう課題の解決策が思い浮かんだけど、結局実行できずに終わってしまった。」という経験はありませんか？頭で考えることはもちろん重要です。ただ考えたことを行動に移せるかどうかの方がさらに大事ですよ。この部分を聞くと毎回「まず動けよ！」と背中を押されます。私たちは日々の生活の中で、「これで本当に合っているのだろうか」「成功する保証はあるのだろうか」といった迷いや不安に直面することが多々あります。特に高校2年生のこの時期、様々な場面においてそのような迷いが大きいかもしれません。しかし、結果を恐れるのではなく、まず行動し、自らの手で可能性を確かめることが重要です。例えば、志望大学の学部研究を徹底的に行い、本当に学びたいことを見つける、部活動において目標を達成するために自己分析し信念をもって努力をし続ける、テストの結果に一喜一憂せず、弱点克服のために具体的な学習計画を立てて実行するなど、小さなことでも構いません。その一つ一つの「やってみる」が、皆さんの未来を切り開く確かな一歩となるはずです。

曲の終盤に、「いつか誰もが驚くような奇跡が この身に起きたとしても きっと僕だけは驚きはしないだろう 起こるべき奇跡が起きただけさ」という歌詞があります。日々の地道な努力が、やがて「奇跡」と呼ばれるような大きな成果に繋がるはずです。皆さんが今、積み重ねている努力は、決して無駄にはなりません。毎日の予習復習、苦手科目の徹底的な克服、部活動の練習、そして友人との建設的な議論、これら全てが未来の「奇跡」を創り出すための大切な一歩です。その努力が、いつか皆さんの未来を明るく照らす「起こるべき奇跡」を引き寄せるでしょう。自分を信じ、前向きに「PRAYING RUN」を続けていってください。

